

観察した鳥類チェックリスト

- | | | | |
|-------------|------------|-----------|-----------|
| ★キジ目 | ★ツル目 | ★ハヤブサ目 | □ ツグミ |
| ・キジ科 | □ クイナ | ・ハヤブサ科 | □ ジョウビタキ |
| □ キジ | □ バン | □ チョウゲンボウ | ・スズメ科 |
| ★カモ目 | □ オオバン | □ ハヤブサ | □ スズメ |
| ・カモ科 | ★チドリ目 | ★スズメ目 | ・セキレイ科 |
| □ オカヨシガモ | ・チドリ科 | ・モズ科 | □ キセキレイ |
| □ ヨシガモ | □ タゲリ | □ モズ | □ ハクセキレイ |
| □ ヒドリガモ | □ ムナグロ | ・カラス科 | □ セグロセキレイ |
| □ マガモ | □ コチドリ | □ カケス | □ タヒバリ |
| □ カルガモ | ・セイタカシギ科 | □ オナガ | ・アトリ科 |
| □ ハシビロガモ | □ セイタカシギ | □ ハシボソガラス | □ カワラヒワ |
| □ オナガガモ | ・シギ科 | □ ハシブトガラス | □ アトリ |
| □ コガモ | □ タシギ | ・シジュウカラ科 | □ ウソ |
| □ ホシハジロ | □ イソシギ | □ ヤマガラ | □ シメ |
| □ キンクロハジロ | ・タマシギ科 | □ シジュウカラ | □ コイカル |
| □ ミコアイサ | □ タマシギ | ・ヒバリ科 | ・ホオジロ科 |
| ★カイツブリ目 | ・カモメ科 | □ ヒバリ | □ ホオジロ |
| ・カイツブリ科 | □ ユリカモメ | ツバメ科 | □ カシラダカ |
| □ カイツブリ | □ セグロカモメ | □ ツバメ | □ アオジ |
| □ カンムリカイツブリ | □ オオセグロカモメ | ・ヒヨドリ科 | □ オオジュリン |
| □ ミミカイツブリ | ★タカ目 | □ ヒヨドリ | □ |
| □ ハジロカイツブリ | ・ミサゴ科 | ・ウグイス科 | □ |
| ★ハト目 | □ ミサゴ | □ ウグイス | □ |
| ・ハト科 | ・タカ科 | ・エナガ科 | □ |
| □ キジバト | □ トビ | □ エナガ | □ |
| ★カツオドリ目 | □ チュウヒ | ・メジロ科 | □ |
| □ カワウ | □ ツミ | □ メジロ | (外来種や家禽) |
| ★ペリカン目 | □ ハイタカ | ・ヨシキリ科 | □ コブハクチョウ |
| ・サギ科 | □ オオタカ | □ オオヨシキリ | □ バリケン |
| □ ヨシゴイ | □ ノスリ | ・セツカ科 | □ ガチョウ |
| □ ゴイサギ | ★ブッポウソウ目 | □ セツカ | □ アヒル |
| □ アマサギ | ・カワセミ科 | ・ムクドリ科 | □ ドバト |
| □ アオサギ | □ カワセミ | □ ムクドリ | |
| □ ダイサギ | ★キツツキ目 | ・ヒタキ科 | |
| □ チュウサギ | ・キツツキ科 | □ シロハラ | |
| □ コサギ | □ コゲラ | □ アカハラ | |

鳥の博物館手賀沼定例観察会

【3月のテーマ】

冬芽と樹皮

案内人: 古川克彌、伊東茂子(鳥の博物館市民スタッフ)

3



冬芽と樹皮を見比べてみよう

枝の先端には細胞分裂のさかんな成長点があり、そこから枝が伸びて行きます。また、樹皮の内側には、細胞分裂がさかんな形成層があり、幹を太くします。

大切な成長点や形成層を、寒さや物理的な衝撃から守っているのが、芽と樹皮です。芽や樹皮には、きびしい環境に耐えるためのさまざまな構造が見られます。

いろいろな樹の冬芽と樹皮を見比べてみましょう。

2018年3月10日(土)

